

前回の編集後記(2021年10月)で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関して、「現在は第5波の真最中であり、9月15日現在、新規感染者数が減少傾向にありますが、まだ先行きは不透明です」と記載いたしました。その後、第5波は収束しましたが、現在は第6波の真最中であり、2月18日現在、新規感染者数が減少傾向にありますが、まだ先行きは不透明です。現在はオミクロン株が主流ですが、ステルスオミクロン株というものも出てきているようで、予断を許しません。3回目のワクチン接種が進んで、1日も早く感染状況が収束に向かうことを祈念しております。

話は変わりますが、「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2021」が日本皮膚科学会雑誌の2021年12月号に掲載されました。今回の改訂版の最大の特徴は新しい治療薬の記載が追加されたことで、具体的にはデュビルマブ、デルゴシチニブ、バリシチニブの3剤です。

デュビルマブはIL-4受容体アルファサブユニットに結合する抗体で、IL-4とIL-13を介したシグナル伝達を阻害することで2型炎症反応を抑えます。既存治療で効果不十分な成人のアトピー性皮膚炎患者に対して、初回に600mg、その後は300mgを2週間隔で皮下投与します。デルゴシチニブは、種々のサイトカインのシグナル伝達に重要なヤヌスキナーゼ(JAK)の阻害外用薬で、免疫細胞の活性化を抑制します。デルゴシチニブ軟膏の使用は「1日2回、1回の塗布量は5gまで」という制限があります。2021年3月に本剤は小児に対して適応拡大され、小児には0.25%製剤を1日2回塗布します。なお症状に応じて、0.5%製剤を1日2回塗布することができます。バリシチニブはJAK1/2の選択的阻害内服薬で、これらを介して行われるサイトカインの細胞内シグナル伝達を阻害することで、炎症や免疫反応を抑制します。既存治療で効果不十分な成人のアトピー性皮膚炎患者に対して、4mgを1日1回経口投与します。中等症の腎機能障害があるなど患者の状態に応じて2mgに減量します。

他にも、アトピー性皮膚炎の診断治療アルゴリズムの図で、寛解導入できなかった場合に、「患者教育による外用療法の適正化」や「診断と重症度の再確認」を追記しました。アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2021の内容が皆様の日常診療に役立つことを祈念しております。

(佐伯秀久)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐 敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第64巻 第3号 3月号

2022年3月1日発行(毎月1回1日発行)

定価 3,080 円(本体 2,800 円+税 10%)

年間購読料金

定価 47,630 円(本体 43,300 円+税 10%)

[年間13冊(臨時増刊号、増大号を含む)の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165 [編集室直通]

TEL 03(3811) 7184 [営業部直通]

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。